様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　7　年　　5　　月　　2　日

長野県知事　　様

提出者

住　所　　長野県上田市蒼久保1155番地

氏　名　　株式会社　上小共同生コン
代表取締役　栗木悦郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0268-35-0358

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　上小共同生コン
事業場の所在地	長野県上田市蒼久保1155番地
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	21. 窯業・土石製品製造業
②事業の規模	売上608935万円
③従業員数	１２名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①生コンクリートの製造出荷 ②残コン（戻りコン等）の持ち帰り、運搬車及びプラント洗浄時に洗浄水が発生 ③車輌洗浄水は残水処理機、プラントの洗浄水は汚水ピットに排水 ④残水処理機および汚水処理ピット内の沈殿槽で洗浄排水に混入したスラッジ水及び骨材を沈降分離 ⑤プラント洗浄排水の沈降物は定期的に重機で引き上げ、残水処理機へ入れる ⑥残水処理機より掻き上げたスラッジ・骨材は天日乾燥させる ⑦乾燥スラッジ、戻りコンは収集運搬業者により中間処理業者へ搬出 ⑧汚水処理ピット内の処理しきれない汚泥は、中間処理業者にて収集運搬し排出

（日本工業規格　Ａ列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）

産業廃棄物処理責任者　　執行役員　工場長
産業廃棄物処理施設技術者　　工場長代理
マニフェスト管理　　執行役員　工場長</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　Ｒ６　　年度）実績】　「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

コンクリートくず:　①建設用路盤機材として再生利用
②戻り生コンを自家用として再利用</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

コンクリートくず:　①建設用路盤機材として再生利用
②戻り生コンを自家用として再利用</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

コンクリート製ストックヤードにて保管</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現状とおりとする</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　Ｒ６　　年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 戻り生コンを自家用として再利用		
②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 戻り生コンを自家用として再利用		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ Ｒ６　　年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】　「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ Ｒ６　　年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（　Ｒ６　　年度）実績】「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） コンクリートくず:建設用路盤材として再利用		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】「別紙のとおり」</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

コンクリートくず:建設用路盤材として再利用</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1

令和　7　年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位：t

実績：前年度産業廃棄物排出量
計画：当年度産業廃棄物排出量の目標値

産業廃棄物の種類		総排出量		自ら再生利用を行った（行う）量		自ら行う中間処理 自ら熱回収を行った（行う）量		自ら行う中間処理 自ら中間処理により減量した（する）量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		処理の委託 全処理委託量		処理の委託 優良認定処理業者への処理委託量		処理の委託 再生利用業者への処理委託量		処理の委託 認定熱回収業者への処理委託量		処理の委託 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		自ら直接再生利用した量等を含めた事業場における産業廃棄物の合計量		自ら直接再生利用する量と自ら中間処理を行った後に再生利用する量				中間処理前の量から中間処理後の量を引いた量		自ら直接埋立・海洋投入処分する量と自ら中間処理した後に自ら埋立・海洋投入処分する量		自社内で処理を行わず直接委託した量と自ら中間処理した残さ量のうち処理業者に委託して処理する量		優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）		中間処理後、有効利用されている場合の委託量（委託先から別の業者に売却等される場合を含む。）		認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）		認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	
		①		②＋⑧		⑤		⑦		③＋⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
法律	1 燃え殻																				
法律	2 汚泥	20.05	20.00									20.05	20.00			20.05	20.00				
法律	3 廃油	0.22	0.10									0.22	0.10			0.22	0.10				
法律	4 廃酸																				
法律	5 廃アルカリ																				
法律	6 廃プラスチック類	0.11	0.10									0.11	0.10			0.11	0.10				
政令	1 紙くず																				
政令	2 木くず																				
政令	3 繊維くず																				
政令	4 動植物性残さ																				
政令	5 ゴムくず																				
政令	6 金属くず																				
政令	7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2922.80	2750.00	13.80	30.00							2909	2720			2909	2720				
政令	8 鉱さい																				
政令	9 がれき類																				
政令	10 家畜ふん尿																				
政令	11 家畜の死体																				
政令	12 動物系固形不要物																				
政令	13 ばいじん																				
政令	14 処分するために処理したもの																				
合　計		2,943.18	2,770.20	13.80	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,929.38	2,740.20	0.00	0.00	2,929.38	2,740.20	0.00	0.00	0.00	0.00

※　総排出量＝自ら再生利用を行った（行う）量＋自ら中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量＋全処理委託量

【記載方法】

・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。